

【本(版)の美術】

諸芸術の複合体である本(版)の美術として、各種版画や雑誌、本の表紙や挿絵の原画、明治初期の取巻などを、時には印刷技術の流れもたどりつつ、その魅力を紹介します。またケルムス・コト・プレスなど、4年10月の貴重な挿絵などもその都度特集して展示します。



北沢英天
(やまとむねと
プリタニヤ)



サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ
『世界の裏の泉』

【郷土ゆかりの美術】



佐藤静司(猫)

郡山には、戦前・戦中の本彫界を牽引したひとりである三本宗策や、洗練されたガラス工芸を生み出した佐藤静四郎など、優れた作家たちがいいます。南無のな動きに敏感に反応し、あるいは地域に根差して地道に制作をしていた郷土ゆかりの作家たちの作品も、その時代の流れのなかで展示します。



佐藤静四郎(魚)

利用案内

開館時間

午前9時30分～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日(ただし月曜日が祝日の場合はその翌日)
年末年始及び臨時休館(12月28日～1月4日、1月10日～1月27日)

観覧料

●企画展…展覧会によって異なります。
(企画展のチケットで常設展もご覧いただけます)

※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方は無料。

●常設展

	個人	団体(1人につき)
一般	200円	150円
高校生・大学生	100円	70円

※団体は20名以上です(事前にご連絡ください)。

中学生以下の方、65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方は、常設展が無料となります。

交通

●乗用車…駐車場(130台収容・無料)

●バス…郡山駅前5番のりばから「美術館経由 東部ニュータウン行き」に東車「郡山市美術館」下車すぐ(所要時間約10分)

※J/T時間は変更になることがありますので、美術館までお問い合わせください。
※展覧会期中の土・日・祝日は駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



郡山市立美術館

〒963-0668 福島県郡山市安原町字大谷地130-2
TEL.024-956-2200 FAX.024-956-2350
https://www.city.koriyama.lg.jp/site/artmuseum



令和4年度 美術館案内

2022.4～2023.3

収蔵作品紹介

郡山市立美術館は、イギリスおよび日本の近現代美術、本(版)の美術、郷土ゆかりの美術という四つの柱のもとに作品の収集をおこなっています。常設展示では、それらに対応した四つの展示室で、所蔵作品の展示替えをしながら紹介します。

【イギリス美術】



サー・ジョシュア・レイノルズ
(エリザベス・バウチス夫人、
ジェーンの肖像)



ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー
(カンパランド州の
コールドハー・ブリッジ)



川村清雄(滝)



吉田博(風景)

【日本近現代美術】

日本の近代を代表する作家たちのほかに、美術史で埋もれてしまった作家たちを掘り下げて、当館ならではの切り目で作品を展示します。また、明治期に普及した水彩画や、イギリスに学んだ画家たちの作品なども特集展示します。

